

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/10/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.19	-0.14
JPY/THB	0.2931	-0.0004
USD/JPY	113.25	-0.36
EUR/THB	38.48	0.04
EUR/USD	1.1594	0.0064
USD/CNH	6.428	-0.028
SGD/THB	24.56	-0.01
AUD/THB	24.48	-0.01
USD/INR	75.37	-0.14
USD Index	94.08	-0.44

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.171	0.000
10Y (THB)	1.989	0.000
5Y (USD)	1.070	-0.001
10Y (USD)	1.537	-0.040

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,793.7	35.4
WTI (Oil)	80.44	-0.2
Copper	9,651.0	186.0

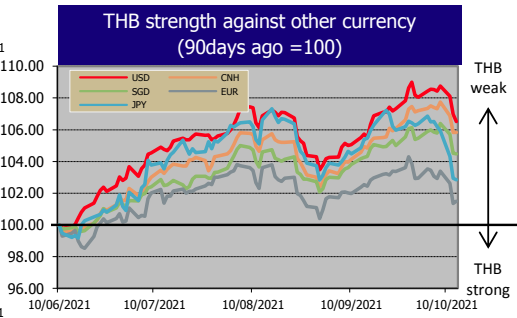
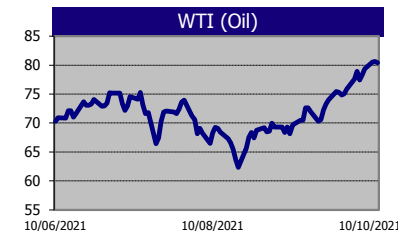
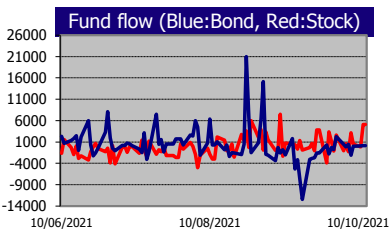
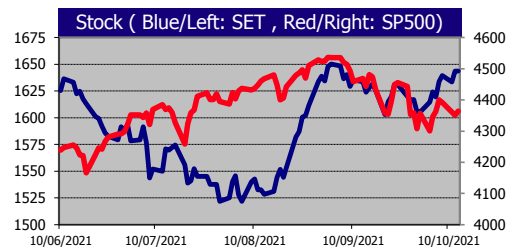
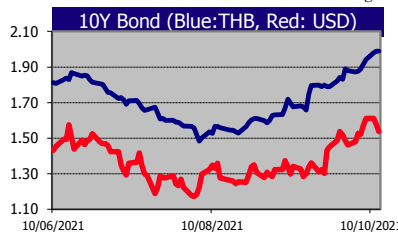
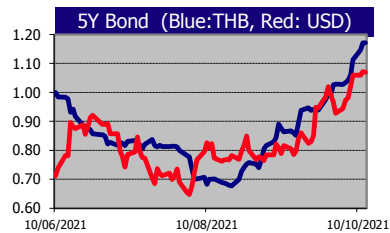
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,643.64	0.00
NIKKEI (JP)	28,140.28	-90.33
DOW (US)	34,377.81	-0.53
S&P500 (US)	4,363.80	13.15
SHCOMP (CN)	3,561.76	14.83
DAX(GER)	15,249.38	102.51

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	5,069	0.0
Bond net flow	139	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・ドルパーツは下落。12日のバンコク時間は33.70近辺でオープン。11月から隔離なしでの外国人観光客受入への期待感が強まるなか、ドルパーツは続落の展開。翌日にタイ休日を控える中、仕掛け的な売りも入りやすく、ドル高も一服感が見られていた中でドルパーツは値幅を伴って下落。13日にかけても売り一辺倒の展開となり、結局33.20近辺まで値を下げてクローズした。

●ドル円その他

・ドル/円は113円台で推移。12日の東京時間は113.35円近辺でオープン。米金利上昇が一服し、アジア時間はじり安の展開となるが、ロンドン時間後は一転して買い優勢の展開。休日明けの米国の参加者も円売りでフォローし、ドル円は113.80円近辺まで上昇。13日は米9月CPIと9月のFOMC議事録の発表を控えて、様子見ムードの展開。注目の米CPIは事前予想通りの結果となったが、賃金価格のインフレ寄与が増え、継続的なインフレ基調を示す結果となった。しかし注目が高かったことから、発表後はイベント一服感もあり、ドル売りが優勢の展開となり、ドル円は結局113.25円近辺まで値を下げてクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

エネルギー価格の高騰が続いています。中国の石炭不足、欧州の天然ガス不足、そしてその余波も受ける形で原油価格が約7年振りの高値に達しました。これからエネルギーの需要期である冬場を迎えることを考えると、エネルギー価格の高騰はしばらく継続すると考えられます。その中で、しばらく動きの乏しかった米物価連動国債の予想インフレ率が約5ヶ月振りの水準に上昇し、市場のインフレ警戒感を高め、同時に米金利上昇&株安にもつながっています。今後の焦点は11月3日に開催される米FOMCであり、おそらくテーパリングの開始が決定されると思いますが、あわせてインフレについての警戒姿勢が強調されれば、米金利上昇&株安は一旦落ち着くものと考えます。

ドルタイパーツ相場は、11月からのタイ入国時隔離免除の方針を受けて、タイパーツ高に少し戻っていますが、一層のタイパーツ高にはドル高の巻き戻しが必要であり、そのためには米金利上昇ピークアウトが必要と考えます。(池澤)